

福証 I P O セミナー in 広島

福証から想いをかたちに ～ 上場前も上場後もお手伝いします～

2023年2月1日

福岡証券取引所 営業部

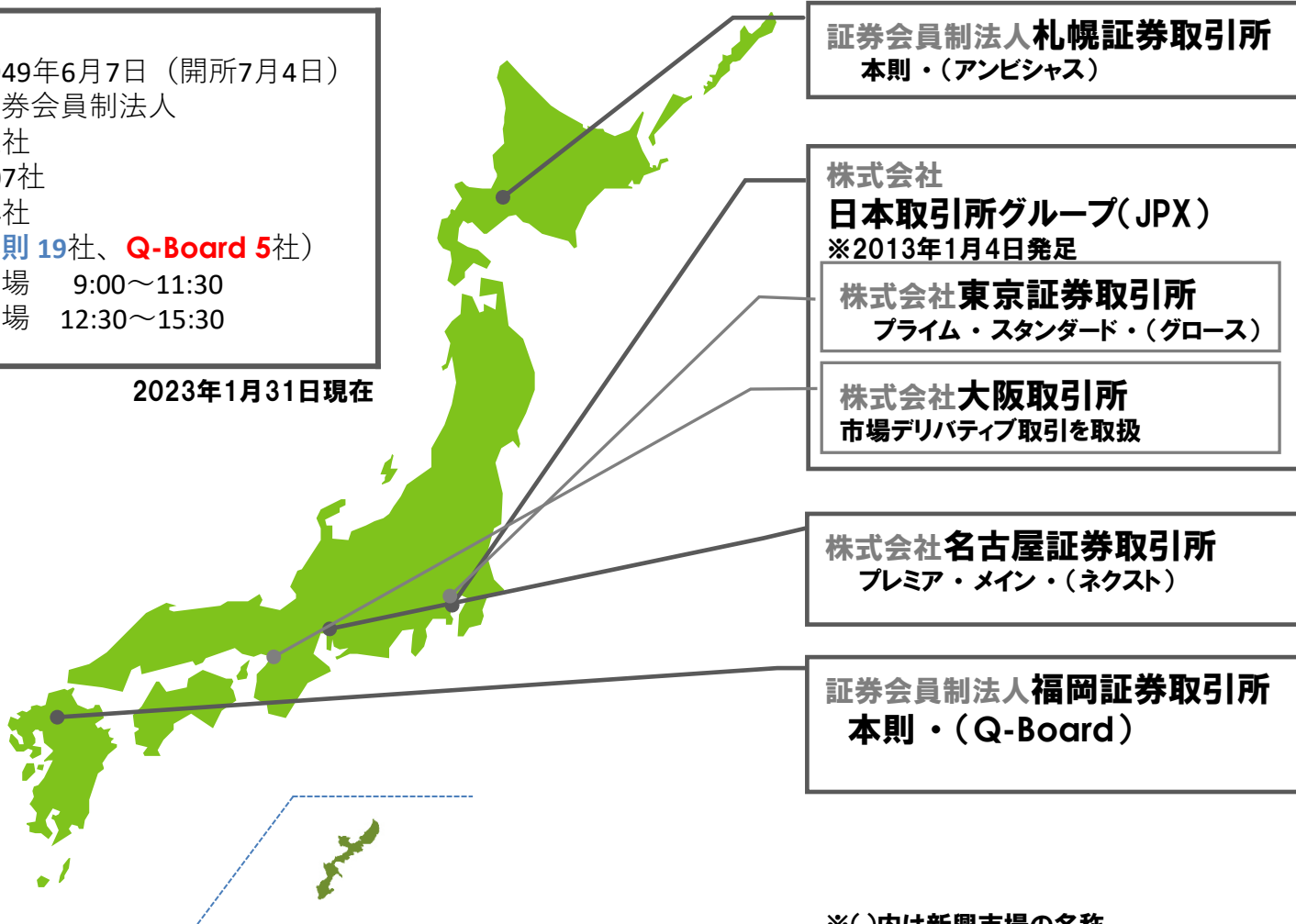
目次

1. 福証の概要
2. 上場を目指す企業への支援
3. 上場後の企業への支援
4. 福証Q-Boardのご紹介
5. IPOを活用した成長事例

1 福証の概要

設立	1949年6月7日（開所7月4日）
組織形態	証券会員制法人
会員数	21社
上場会社数	107社
うち単独	24社
	(本則 19社、Q-Board 5社)
取引時間	前場 9:00～11:30 後場 12:30～15:30

2023年1月31日現在



- 2001年までに東京・大阪に近接した地方取引所が廃止され、東京・大阪に集約。
- 福証は、地域に残された数少ない取引所の一つとなっており、地域の視点を持ち、地域経済と一体となった運営を展開。

※()内は新興市場の名称

過去廃止になった取引所
神戸証券取引所(1967年閉鎖)
新潟証券取引所(2000年に東証へ吸収合併)
広島証券取引所(2000年に東証へ吸収合併)
京都証券取引所(2001年に大証へ吸収合併)

1 福証の概況 ～上場会社数・取扱実績等～

		2021年度 (2021.4～2022.3)	2020年度 (2020.4～2021.3)
上場会社数 (年度末) <small>※括弧内は単独上場を内書き</small>	本則	90社 (19社)	92社 (20社)
	Q-Board	18社 (7社)	15社 (5社)
	計	108社 (26社)	107社 (25社)
新規上場会社数 (年度中) <small>※括弧内は単独上場を内書き ※テクニカル上場含む</small>	本則	2社 (0社)	0社 (0社)
	Q-Board	3社 (2社)	0社 (0社)
	計	5社 (2社)	0社 (0社)
上場廃止会社数 (年度中) <small>※括弧内は単独上場を内書き ※テクニカル上場による廃止 含む</small>	本則	4社 (0社)	3社 (0社)
	Q-Board	0社 (0社)	0社 (0社)
	計	4社 (0社)	3社 (0社)
売買高・売買代金 (年度中)	本則	830万株 78億円	1,107万株 98億円
	Q-Board	562万株 50億円	775万株 104億円
	計	1,392万株 129億円	1,883万株 203億円
会員証券会社数 (年度末)	一般	13社	13社
	特定	8社	8社
	計	21社	21社

1 福証の概況 ～会員証券会社一覧～

【一般正会員（13社）】

（2023年1月31日現在）

会社名	会社名	会社名
F F G証券	野村證券	みずほ証券
岩井コスモ証券	丸三証券	東洋証券
大和証券	岡三証券	だいこう証券ビジネス
東海東京証券	S M B C日興証券	三菱U F Jモルガン・スタンレー証券
西日本シティT T証券		

【特定正会員（8社）】

会社名	会社名	会社名
松井証券	auカブコム証券	マネックス証券
立花証券	廣田証券	Jトラストグローバル証券
S B I証券	アイザワ証券	

1 福証の概況 ～単独上場会社一覧～

【本則市場（19社）】

（2023年1月31日現在）

本社所在地	会社名（業種）			
福岡県 （11社）	日本乾溜工業（建設）	サイタHD（建設）	マルタイ（食料品）	丸東産業（化学）
	第一交通産業（陸運）	昭和鉄工（金属製品）	RKB毎日HD（情報通信）	グリーンクロス（卸売）
	福岡中央銀行（銀行業）	筑邦銀行（銀行）	大英産業（不動産）	
大分県 （3社）	ジョイフル（小売）	豊和銀行（銀行）	アメイズ（サービス）	
宮崎県 （1社）	宮崎太陽銀行（銀行）			
鹿児島県 （4社）	ヒガシマル（食料品）	サンケイ化学（化学）	Misumi（卸売）	南日本銀行（銀行）

【Q-Board（5社）】

本社所在地	会社名（業種）			
福岡県 （3社）	フロンティア（化学）	メディアファイブ （情報通信）	ビジネス・ワンHD （不動産）	
山口県 （1社）	TRUCK-ONE（卸売）			
静岡県 （1社）	Geolocation Technology （情報通信）			

1 福証の概況 ～福証と東証との重複上場銘柄(83銘柄)～

黒字：本則上場銘柄

赤字：Q-Board上場銘柄

(2023年1月31日現在)

本社所在地	会社名 (業種)			
福岡県 (42社)	三井松島HD (鉱業)	富士PS (建設)	九電工 (建設)	高田工業所 (建設)
	鳥越製粉 (食料品)	イフジ産業 (食料品)	大石産業 (紙・パルプ)	ブリヂストン (ゴム製品)
	TOTO (ガラス・土石製品)	黒崎播磨 (ガラス・土石製品)	日創プロニティ (金属製品)	西部電機 (機械)
	岡野バルブ (機械)	安川電機 (電気機器)	正興電機製作所 (電気機器)	三井ハイテック (電気機器)
	日本タングステン (電気機器)	プラッツ (その他製品)	九州電力 (電気・ガス)	西部ガスHD (電気・ガス)
	西日本鉄道 (陸運)	九州旅客鉄道 (陸運)	ゼンリン (情報通信)	OCHIHD (卸売)
	ヤマエグループHD (卸売)	小野建 (卸売)	南陽 (卸売)	リックス (卸売)
	ロイヤルHD (小売)	MrMAXHD (小売)	はせがわ (小売)	井筒屋 (小売)
	西日本FH (銀行)	ふくおかFG (銀行)	九州リースサービス (その他金融)	コーセーアールイー (不動産)
	トラストHD (不動産)	サニックス (サービス)	ホープ (サービス)	テノ、HD (サービス)
	メディア総研 (サービス)	ピー・ビーシステムズ (情報通信)		
佐賀県 (2社)	久光製薬 (医薬品)	佐賀銀行 (銀行)		
熊本県 (3社)	Lib Work (不動産)	九州FG (銀行)	グリーンランド (サービス)	

1 福証の概況 ～福証と東証との重複上場銘柄(83銘柄)～

本社所在地	会社名 (業種)			
大分県 (4社)	F I G (情報通信)	c o t t a (卸売)	大分銀行 (銀行)	グランディーズ (不動産)
宮崎県 (2社)	宮崎銀行 (銀行)	W A S H ハウス (サービス)		
鹿児島県 (1社)	コーアツ工業 (建設)			
沖縄県 (3社)	沖縄電力 (電気・ガス)	おきなわF G (銀行)	琉球銀行 (銀行)	
山口県 (4社)	エムビーエス (建設)	U B E (化学)	エストラスト (不動産)	東武住販 (不動産)
大阪府 (5社)	武田薬品工業 (医薬品)	住友電気工業 (非鉄金属)	ダイヘン (電気機器)	アドバンスクリエイト (保険)
	ハウスフリーダム (不動産)			
東京都 (17社)	タマホーム (建設)	大林組 (建設)	麒麟HD (食料品)	太平洋セメント (ガラス・土石製品)
	日本製鉄 (鉄鋼)	三菱重工業 (機械)	富士電機 (電気機器)	キヤノン (電気機器)
	山九 (陸運)	飯野海運 (海運)	松竹 (情報通信)	東宝 (情報通信)
	三井物産 (卸売)	三越伊勢丹HD (卸売)	リンガーハット (小売)	平和不動産 (不動産)
	ポート (サービス)			

(参考)最近の福証新規上場会社



メディア総研株式会社
Media Research Institute, Inc.

上場日：2021年9月3日
会社名：メディア総研株式会社
代表者名：代表取締役社長
田中 浩二氏
業種：サービス業
所在地：福岡県



もっと速くに、もっと近くに。
Geolocation Technology



上場日：2021年9月13日
会社名：株式会社Geolocation Technology
代表者名：代表取締役社長
山本 敬介氏
業種：情報・通信業
所在地：静岡県



FRONTIER

上場日：2021年11月1日
会社名：株式会社フロンティア
代表者名：代表取締役社長
山田紀之氏
業種：化学
所在地：福岡県



 Advance Create
The Insurance Market Place

上場日：2022年9月28日
会社名：株式会社アドバンスクリエイト
代表者名：代表取締役社長
濱田 佳治氏
業種：保険業
所在地：大阪府



目次

1. 福証の概要
2. 上場を目指す企業への支援
3. 上場後の企業への支援
4. 福証Q-Boardのご紹介
5. IPOを活用した成長事例

➤ 地域社会による福証の支援機関として、1998年(平成10年)6月に

『福岡証券取引所活性化推進協議会』が設立されました。

➤ <活性化推進協議会の目的>

協議会は、経済界、行政など**各界が一体となって福岡証券取引所の活性化**を図り、地域経済の発展とアジアの拠点としての九州の役割高揚に資することを目的とする。

- 福岡経済同友会、福岡商工会議所、九州経済連合会、北九州商工会議所、福岡県、福岡市、北九州市
- 九州電力、西日本鉄道、西部ガス、九電工、九州旅客鉄道、TOTO、安川電機
- 山口銀行、北九州銀行、福岡銀行、西日本シティ銀行、筑邦銀行、佐賀銀行、十八親和銀行、肥後銀行、大分銀行、宮崎銀行、鹿児島銀行、琉球銀行、沖縄銀行
- FFG証券、西日本TT証券、大和証券、SMBC日興証券、野村證券
- 福岡証券取引所

年に一度、福証活性化推進協議会との共催で、「**福証企業交流会**」を行っております。

この企業交流会は、関係行政機関、会員証券会社、福証上場企業、上場を目指す企業、監査法人、ベンチャーキャピタル等の広範な関係者を多数招き、福証の活動に理解を深めていただくとともに、様々な異なる立場の参加者の交流から生まれる「**横の連携**」を深めていく趣旨で始めたものです。 ※現在はコロナ禍の影響で中断

[福岡証券取引所 設立70周年記念企業交流会的一幕(2019年7月25日開催)]



九州IPO挑戦隊企業のご紹介

新規上場会社のご紹介



上段:開催挨拶をされる福証活性化推進協議会会長
下段:懇親会の様子



- 対象：今後3～5年のうちに株式上場を果たしたいと明確な目標を有している企業のうち、監査法人との契約がまだ決定していない企業。（選抜制）

- 内容：全8回にわたる監査法人監修(トーマツ、EY新日本)の挑戦隊独自のスペシャルプログラム「IPOチャレンジアカデミー」の受講

IPOチャレンジアカデミー
(上場に向けた事業計画書の策定)

- 販路拡大支援
- 資金調達支援
- 専門家派遣

直前々期

直前期

申請期

福証への
株式上場

- 目的：上場に向けた実践的な知識の習得と企業力を高めるため、「事業計画書」の作成を最終目標とする。

- 期間：約7ヶ月間

- 主催：QSP（福岡県ベンチャービジネス支援協議会・九州ニュービジネス協議会・中小企業基盤整備機構九州本部・福岡証券取引所（事務局））

2 上場を目指す企業への支援

～九州IPO挑戦隊～



第14期生（2022年）



入会証（だるま）授与の様子 第13期生（2021年）



入会式出席者の様子
第11期生（2019年）

セミナーの様子



(参考)九州IPO挑戦隊入会企業一覧(累計66社)

※下記一覧は倒産等企業を除く

第1期生(2009年7月入会)	第3期生(2010年9月入会)	第6期生(2013年6月入会)	第9期生(2016年6月入会)	第12期生(2019年6月入会)
<ul style="list-style-type: none"> ● 晴天(福岡) ● インターウェブ(鹿児島) ● エイムテック(熊本) ● エスエイ検査サービス(大分) ● エストラスト(山口) ● 木村情報技術(佐賀) ● 東武住販(山口) ● 益正グループ(福岡) ● ユーリンクス(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 新栄クリエイト(山口) ● エコファクトリー(熊本) ● クイックウォッシュ(福岡) ● アステックペイント(福岡) ● フロンティア(山口) 	<ul style="list-style-type: none"> ● オンザリングス(広島) ● 九州スタッフ(福岡) ● クハラ(山口) ● コベル(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● グランドビジョン(福岡) ● グローバルブレインズ(福岡) ● ネオ倶楽部(福岡) ● Maeda(大分) ● リーフラス(東京) 	<ul style="list-style-type: none"> ● アイクリエーション(大分) ● あんしんサポート(福岡) ● オファサポート(宮崎) ● ジェイウェイブ(福岡)
	第4期生(2011年4月入会)	第7期生(2014年6月入会)	第10期生(2017年6月入会)	第13期生(2021年6月入会)
	<ul style="list-style-type: none"> ● Lib Work(熊本) ● 果実堂(熊本) ● 関家具(福岡) ● トットゥモロウ(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● TRN(福岡) ● スペースエージェンシー(熊本) ● ディー・アンド・エイチ(福岡) ● 吉川建設(長崎) 	<ul style="list-style-type: none"> ● クマモト敬和(熊本) ● クロスエイジ(福岡) ● サニーハウス(福岡) ● のぶちゃんマン(京都) 	<ul style="list-style-type: none"> ● WISHシステムコンサルティング(鹿児島) ● ツバメ・イータム(山口) ● 寶結(福岡)
第2期生(2010年2月入会)	第5期生(2012年5月入会)	第8期生(2015年6月入会)	第11期生(2018年6月入会)	第14期生(2022年6月入会)
<ul style="list-style-type: none"> ● 黒木(福岡) ● ヒューマン・ネットワーク(長崎) ● ブルーム(佐賀) ● やまそう(福岡) ● レオロジー機能食品研究所(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 丸久鋼材(福岡) ● ミリオネット(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● エトウ(福岡) ● スパークジャパン(宮崎) ● 福岡情報ビジネスセンター(福岡) ● ユーコネット(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 売れるネット広告社(福岡) ● ロカボワークス(福岡) ● ONE FOR ALL(福岡) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 南の太陽(鹿児島) ● ダイヤモンドブルーイング(熊本) ● アオン(山口)

- 福岡証券取引所ホームページのサイト
- 上場を目指す企業さま向けのIPOに特化したプラットフォーム

【Information（情報発信）】

- IPOサポーターが主催しているセミナー・イベント等の発信。



【Navigation（相談窓口）】

- 上場に興味がある企業が、より気軽にメールや電話で相談できる窓口。



SUPPORTER

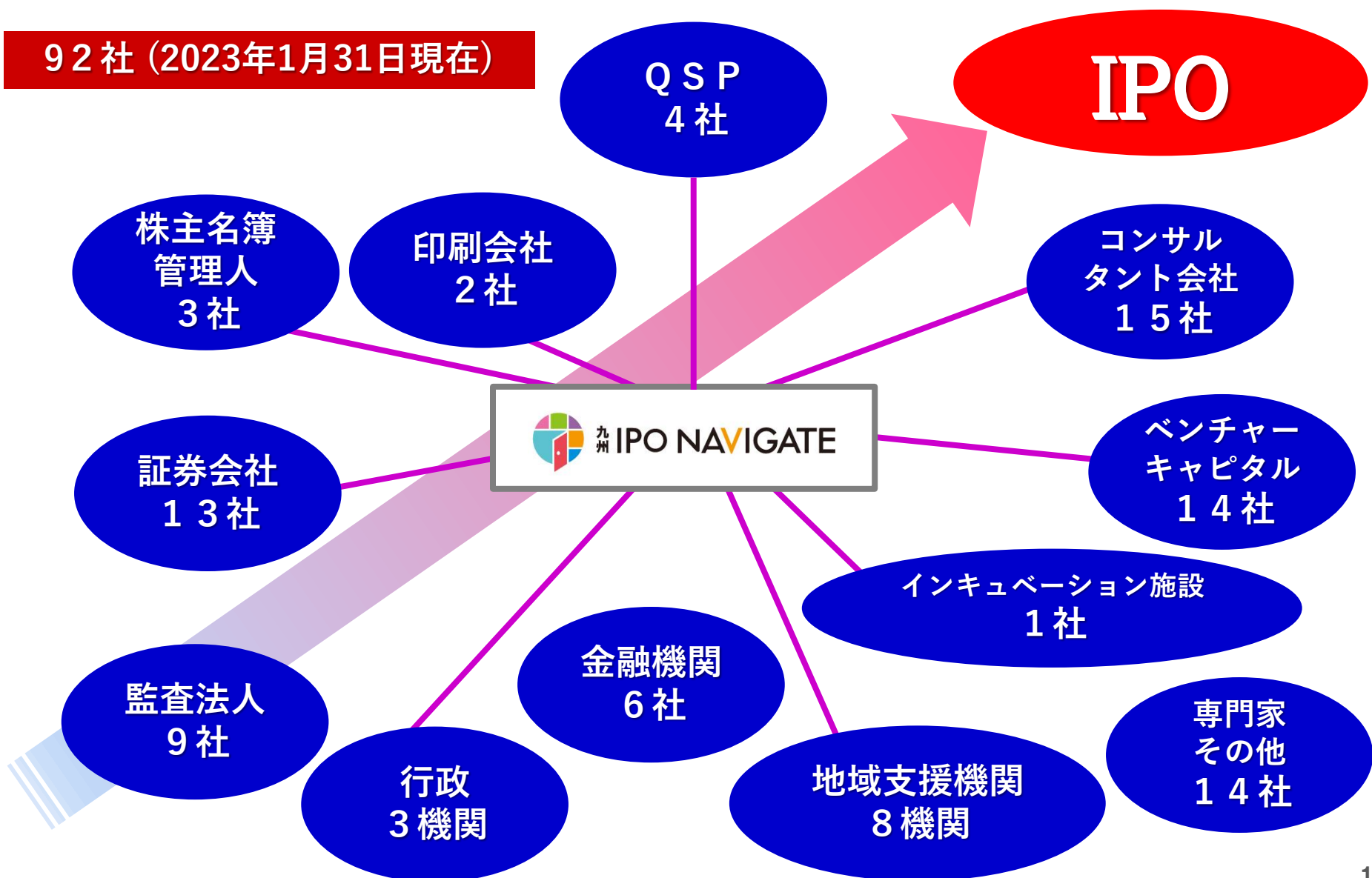
- 相談企業の希望に応じて、IPOサポーターとのマッチングの機会を提供。

<https://www.fse.or.jp/iponavigate/>

こちらから確認できます➡

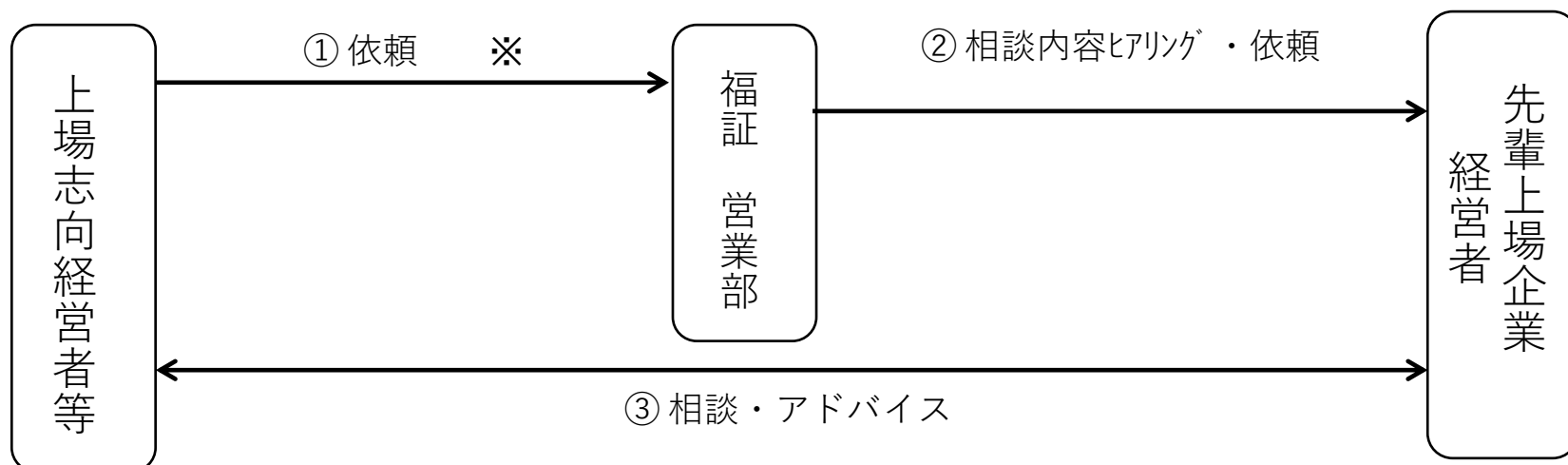


92社 (2023年1月31日現在)



2 上場を目指す企業への支援 ～福証IPOアンバサダー制度～

先輩上場経営者（IPOアドバイザー）が、上場志向企業経営者等に対して
上場や経営に関するアドバイスを行ないます。



※ ご相談内容によって、制度利用をお断りする場合があります。

【IPOアンバサダー（2023年1月31日現在 順不同）】

cotta	(卸売)	会長	佐藤 成一 様	ピー・ビーシステムズ	(情報通信)	社長	富田 和久 様
グランディーズ	(不動産)	社長	亀井 浩 様	フロンティア	(化学)	社長	山田 紀之 様
テノホールディングス	(サービス)	社長	池内 比呂子 様	Geolocation Technology	(情報通信)	社長	山本 敬介 様
エムビーエス	(建設)	社長	山本 貴士 様				
Lib Work	(不動産)	社長	瀬口 力 様				

2 上場を目指す企業への支援

～金融機関との協力～

地域における企業の株式上場に向けた成長支援を連携・協力するため
「地域における企業の株式上場に向けた成長支援に関する協力協定」を締結

- 協定内容
- (1) 株式上場に関する個別相談対応
 - (2) 株式上場に関する情報提供
 - (3) その他両社が協議合意した事項の推進

福岡県	福岡銀行	西日本シティ銀行	筑邦銀行	福岡中央銀行	北九州銀行
佐賀県	佐賀銀行				
熊本県	肥後銀行				
長崎県	十八親和銀行				
大分県	大分銀行	豊和銀行			
宮崎県	宮崎銀行	宮崎太陽銀行			
鹿児島県	鹿児島銀行	南日本銀行			
沖縄県	沖縄銀行	琉球銀行			
山口県	山口銀行				
広島県	もみじ銀行				

目次

1. 福証の概要
2. 上場を目指す企業への支援
3. 上場後の企業への支援
4. 福証Q-Boardのご紹介
5. IPOを活用した成長事例

個人投資家向けIRの場を提供

メリット：低廉なコストで個人投資家向けに直接IRを行うことができます。

<参加企業の声>

- ・九州地域での個人投資家向け説明会として大変貴重な場であり、個人投資家から率直な意見を伺える点がよい。
- ・来場者のアンケート結果が参考となった。
- ・上場したばかりでIRの参加経験が少ないため、会場の雰囲気や事前準備など大変勉強になった。
- ・株主総会以外では直接対話のできない個人投資家と意見交換ができる点や費用についても他のIR支援会社の主催するものより安価である点が魅力。



※現在はオンライン形式での開催

IRフェア開催実績(2022年2月～2023年2月)

開催月	参加企業
2022.02	西部ガスホールディングス(株) 昭和鉄工(株) 九州旅客鉄道(株)
2022.03	メディア総研(株) (株)エムビーエス (株)LibWork (株)フロンティア
2022.04	日創プロニティ(株) ポート(株)
2022.07	小野建(株)
2022.08	福岡リート投資法人 イフジ産業(株)
2022.09	(株)LibWork (株)フロンティア (株)エムビーエス (株)コーセーアールイー
2022.11	メディア総研(株)
2022.12	西部ガスホールディングス(株) 日創プロニティ(株) (株)ピー・ビーシステムズ 福岡リート投資法人 日本タングステン(株)
2023.2	(株)富士ピー・エス (株)九電工

3 上場後の企業への支援 ～記者会見の場提供・福証単独上場会社の会～

- 福証では、本所上場会社が決算等の記者会見を行う際において、本所大会議室(約126㎡)を提供しております(本所が所在する福岡証券ビル3Fに福岡金融・経済記者クラブも所在)。
- また、福証では、「福証単独上場会社の会」の事務局を務めております。福証単独上場会社の会では、企業の業況などを一層、個人投資家に知っていただくために、WEBサイトでのIR活動などに力を入れております。



(IR NAVI福証)

<https://www.irnavi-fse.jp/>



IRNAVI 福証
福証単場会
The Association of Fukuoka Stock Exchange Independent Listed Companies

新着情報

福証単独上場会社一覧

初心者向け株式入門

福証のサポート活動

福証IRフェア

今日の株価

コード 4250	コード 1771	コード 1999	コード 2058
フロンティア	日本乾溜工業	サイタホールディングス	ヒガシマル
株価 前日比	株価 前日比	株価 前日比	株価 前日比

(非表示)

目次

1. 福証の概要
2. 上場を目指す企業への支援
3. 上場後の企業への支援
4. 福証Q-Boardのご紹介
5. IPOを活用した成長事例

4 Q-Boardのご紹介

Q-Boardとは・・・

新しい技術又はユニークな発想に基づき、今後の成長の可能性があると認められる企業を対象とした中小・ベンチャー企業向けのマーケットです。

また、当マーケットは地域経済に貢献し、成長する企業への資金調達の機会を提供することを目的として設立されているため、原則として九州周辺(九州・沖縄・中国・四国地方)に本店を有すること、九州周辺以外に本店を有する場合は、九州周辺での継続的な事業実績かつ事業計画を有することを求めています。

成長のファーストステージ

Q-Board

対象とする企業

- ・新しい技術、ユニークな発想を持つ企業
- ・今後成長の可能性のある企業
- ・九州地域周辺での事業実績（計画）のある企業

4 Q-Boardのご紹介 ～上場審査 実質基準～

Q-Board

(企業の成長可能性)

主幹事証券が成長可能性に関する書面を提出

企業内容、リスク情報等の開示の適正性

企業内容等の開示を適正に開示することができる状況にあること

本 則

企業の継続性及び収益性

継続的に事業を営み、かつ経営成績の見通しが良好であること

企業内容等の開示の適正性

企業内容等の開示を適正に開示することができる状況にあること

企業経営の健全性

事業を公正かつ忠実に遂行していること

企業のコーポレート・ガバナンス及び内部管理体制の有効性

コーポレート・ガバナンス及び内部管理体制が適切に整備されていること

その他公益又は投資者保護の観点から福証が特に必要と求める事項

4 Q-Boardのご紹介 ～上場審査 形式基準～

2023.1.31現在

区分	Q-Board 上場基準	東証グロース 上場基準	東証グロース 上場維持基準
株主数	200人以上	150人以上	← 同 左
上場時公募・売出	500単位以上の公募	500単位以上の公募	—
流通株式数	—	1,000単位以上	← 同 左
流通株式比率	—	25%以上	← 同 左
上場時価総額	3億円以上	—	上場10年経過後 40億円以上
流通株式時価総額	—	5億円以上	← 同 左
純資産の額	正	—	正
売買	—	—	月平均10単位以上
C Gコード	基本原則	基本原則	—

【参考】福証本則の形式基準

2023.1.31現在

区分	本則 上場基準	東証スタンダード 上場基準	東証スタンダード 上場維持基準
株主数	300人以上	400人以上	← 同 左
上場時公募・売出	※1	—	—
流通株式数		2,000単位以上	← 同 左
流通株式比率	—	25%以上	← 同 左
上場時価総額	10億円以上	—	—
流通株式時価総額	—	10億円以上	← 同 左
純資産の額	3億円以上（単体：正）	正	← 同 左
利益	最近1年間に 5,000万円以上	最近1年間に 1億円以上	—
売買	—	—	月平均10単位以上
C G コード	基本原則	全原則	—

※1 流通株式数2,000単位以上かつ上場株式数の25%以上 又は 上場日の前日までに公募又は売出しを1,000単位又は上場株式数の10%のいずれか多い株式数以上を行うこと

【参考】福証本則の形式基準

2023.1.31現在

区分	本則 上場基準	東証プライム 上場基準	東証プライム 上場維持基準
株主数	300人以上	800人以上	← 同 左
上場時公募・売出	(前頁※1 参照)	—	—
流通株式数		2万単位以上	← 同 左
流通株式比率	—	35%以上	← 同 左
上場時価総額	10億円以上	250億円以上	—
流通株式時価総額	—	100億円以上	← 同 左
純資産の額	3億円以上 (単体：正)	50億円以上 (単体：正)	正
利益	最近1年間で 5,000万円以上	最近2年間の利益合計が 25億円以上 又は 売 上高100億円以上かつ 時価総額1,000億円以上	—
売買	—	—	1日平均売買代金0.2億 円以上 (月平均40単位 以上)
CGコード	基本原則	全原則	—

(1) イニシャルコスト

	Q-Board	東証グロース
上場審査料	50万円	200万円
新規上場料	定額 150万円	定額 100万円
	定率 -	定率 公募総額の万分の9 売出し総額の万分の1

(2) ランニングコスト

	Q-Board	東証グロース
QB：年賦課金 東証：年間上場料	単独： 42万円～60万円 + T Dnet利用料12万円 重複： 6万円～24万円 ※上場時価総額で金額が違う	48万円～408万円 + T Dnet利用料 12万円 ※上場時価総額で金額が違う
QB：追加上場手数料 東証：新株の上場に 係る手数料	調達額の万分の2	調達額の万分の8 ※

※ その他東証では、そのほかに次の費用などがある。

- ・ 上場株券等の発行又は処分をする場合
- ・ 上場株券等の売出しをする場合

発行価格×発行または処分する株式数×万分の1
 売出し価格×売出し株式数×万分の1

前提

・公募	360,000 株
・売出（引受人の買取引受 + OA)	770,100 株
・公募または売出価格	1,440 円

	Q-Board	東証グロース
上場審査料	500,000円	2,000,000円
新規上場料	1,500,000円	1,000,000円
公募分	0円	360,000株 × 1,440円 × 9/10000 = 466,500円
売出分	0円	770,100株 × 1,440円 × 1/10000 = 110,800円
合 計	2,000,000円	3,577,300円

●Q-Board上場ガイドブック

<https://www.fse.or.jp/stock/pdf/index/202011qbg.pdf>



●本則上場ガイドブック

<https://www.fse.or.jp/stock/pdf/index/202011hsg.pdf>



目次

1. 福証の概要
2. 上場を目指す企業への支援
3. 上場後の企業への支援
4. 福証Q-Boardのご紹介
5. **IPOを活用した成長事例**

5 IPOを活用した成長事例 ～ステップアップ事例～

●福証から東証へステップアップの事例

▶ 歴代Q-Board単独上場会社15社

4827	ビジネス・ワンホールディングス (株)
2423	ジェイエムテクノロジー (株)
3359	(株) cotta(旧株タイセイ)
1401	(株) エムビーエス
8996	(株) ハウスフリーダム
3047	(株) TRUCK-ONE
3824	メディアファイブ (株)
3235	トラストホールディングス (株) (旧トラストパーク)
3243	ダイヨシトラスト (株)
3440	日創プロニティ (株)
3261	(株) グランディーズ
1431	(株) Lib Work (旧株エスケーホーム)
4447	(株) ピー・ビーシステムズ
4018	(株) Geolocation Technology
4250	(株) フロンティア

▶ グロース市場へのステップアップ上場

3359	(株) cotta
1401	(株) エムビーエス
3286	トラストホールディングス (株)
3261	(株) グランディーズ
1431	(株) Lib Work
4447	(株) ピー・ビーシステムズ

▶ スタンダード市場へのステップアップ上場 ※福証は本則に移行

8996	(株) ハウスフリーダム
3440	日創プロニティ (株)

5 IPOを活用した成長事例 ～単独上場期間の成長実績～

企業名 【QB上場日】 【東証上場日】 (QB単独上場期間)	売上 (百万円)			経常利益 (百万円)			時価総額 (百万円)		
	IPO 直前期	東証上場年 の決算時	増加率	IPO 直前期	東証上場年 の決算時	増加率	IPO 公開ベース	QB単独 上場最終 月末時点	増加率
グランディーズ 【2012.12.21】 【2014.12.22】 (2年0ヶ月)	単 655	単 2,204 (2014.12)	+236%	単 56	単 304	+444%	362	2,076	+472%
ピー・ビー・システムズ 【2019.9.12】 【2022.10.6】 (3年0ヶ月)	単 1,485	単 2,503 (2022.9)	+68%	単 14	単 262	+1722%	1,806	5,254	+190%
LibWork 【2015.8.5】 【2019.6.18】 (3年10ヶ月)	単 3,086	単 6,597 (2019.6)	+113%	単 132	単 573	+332%	872	2,810	+222%
cotta 【2005.2.16】 【2013.9.17】 (8年7ヶ月)	単 635	単 3,071 (2013.9)	+383%	単 13	単 172	+1182%	484	3,663	+655%

5 IPOを活用した成長事例 ～単独上場期間の成長実績～

企業名 【QB上場日】 【東証上場日】 (QB単独上場期間)	売上 (百万円)			経常利益 (百万円)			時価総額 (百万円)		
	IPO直前期	東証上場年の決算時	増加率	IPO直前期	東証上場年の決算時	増加率	IPO公開ベース	QB単独上場最終月末時点	増加率
エムビーエス 【2005.4.26】 【2015.8.13】 (10年3ヶ月)	単 233	単 1,849 (2015.5)	+692%	単 11	単 207	+1782%	419	1,796	+328%
日創プロニティ 【2007.8.8】 【2019.7.16】 (11年11ヶ月)	単 2,250	単 8,579 (2019.8)	+281%	単 240	単 1,517	+532%	2,100	6,484	+208%
ハウスフリーダム 【2006.2.10】 【2022.12.23】 (16年10ヶ月)	連 4,998	連 11,795 (2021.12)	+136%	連 130	連 424	+224%	1,030	2,761	+167%

全国、そして世界へ

本則市場

Q-Board

九州四回挑戦隊

福岡証券取引所
FUKUOKA STOCK EXCHANGE

福岡証券取引所は、地域の皆様にとって一番身近なIPOに関する『プラットフォーム』となり、この地域から、21世紀を担い、九州・西日本ひいては日本を代表するような企業を誕生させたいと思っています。

ご清聴ありがとうございました

I P Oに関する相談は、 まずは福証へご相談下さい！

代表者	理事長 長 宣也（おさ のぶや）
設立	1949年6月7日（開所 7月4日）
所在地	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-2 福岡証券ビル3F
会員数	21社
上場会社数	107社（うち単独上場会社24社） ※2023.1.31現在
取引時間	前場 午前9時00分～午前11時30分 後場 午後0時30分～午後3時30分
上場相談	相談窓口 営業部 (TEL) 092-741-8233 (Mail) f-eigyo@fse.or.jp

- 本資料は福岡証券取引所に関する業務の説明資料として作成しています。
- 記載の内容、数値等は万全を期していますが、その数値等は発表された企業情報に基づいたものであり、変更されることがあります。
- また、上場企業等についても記載、説明がされていますが、これらは個別企業への株式投資を推奨するものではありません。投資等の判断には他の情報等をご参照いただきますようご注意ください。